



発行所  
〒924-8544  
石川県白山市三浦町500の1  
石川県立翠星高等学校内  
六星同窓会  
印刷所  
印刷  
能登印刷

# 会長挨拶 諺に学ぶ

六星同窓会  
会長



大藏捷直

同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日ごろより母校の発展並びに同窓会活動に

対しまして、格別のご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。さて、この春卒業された皆様は、三年間の学校生活を通して沢山のこ

を学び、体得し、かけがえない友情を育まれたことと思います。とりわけ、本校でしか体験できない専門分野における実験実習や課題研究などを通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、判断し、よりよく課題を解決する能力を身につけたことと思います。また、生命体と継続的に関わる中で、自然を大切にすると心や共生の大切さ、生命に対する尊敬の気持ちや思いやりの心を培ったことと思います。それらを糧として、今後とも自己研鑽に努め、それぞれの道を切り拓いて行っていただきたいと思

その一つは「肥やしは主の足跡」である。作物の生育に欠くことのできない必要な元素は、窒素、リン、カリウムをはじめ十六の元素があり、それらを必須元素という。それらを含む肥料を施すことも大事だがそれにもまして大切なことは、主(経営者)がせつせと畑に足を運ぶことであるということわざである。熱心に足を運ぶことで、水分の過不足や栄養状態、病害虫の発生の有無などしっかりと把握し、適切に処置ができるという、育てる姿勢、作物への愛情こそが最も大切なことであるという教えである。このことは、農業分野にかかわらず広く共通することだと思

われ、日射がさえぎられ収量が低下し、収穫物の品質も低下する。さらに、病害虫の発生を助長させるなどその害は大きくなる。上農(優れた農業者)は雑草が発生する前に対策を講じ、作業効率を高め、収量・品質の向上につなげているということわざである。ちなみに、草を見ずして草を取る例をあげると、敷きわらや耕起、輪作、田畑転換などがある。雑草の特性を理解し、先を見越す先見性、計画性が農業にとつてとりわけ大事だという教えである。これもまた農業にかかわらず色々な場面に通じるものだと思う。

# 母校の躍進続くグローバルGAP認証取得



石川県立翠星高等学校  
校長  
稲葉 幹雄

稲葉 幹雄

同窓生の皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。本年も母校や後輩たちに対しまして、様々な支援を賜りましたことを、この紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。

昨年度は、日本学校農業クラブ全国大会プロジェクト発表会における全国最優秀・文部科学大臣賞受賞をご報告させていただきました。四十三年ぶりの快挙ということで、県内外からも注目を集め、各方面か

らお声がけをいただき、生徒たちは多くの発表の機会に恵まれました。県内の合同発表会では、並み居る強豪校の中でも圧巻のプレゼンテーションを披露し、翠星高校のみならず専門高校の力量が再評価される契機ともなりました。また、六月には日本経済新聞社が東京日本橋で主催した「AGU/SUM」という、大手企業、金融機関、行政、教育関係者が集う盛大なイベントに、全国の高校生として唯一選

ばれ参加いたしました。日本の教育界や経済界を牽引している方々に、本校生徒が自分たちの研究活動を発表することで、農業に大きなビジネスチャンスがあることを広く周知することとなり、大きな反響を呼びました。さて、話題は転じますが、ご存じのとおり2020年には東京オリンピックが開催され、世界各国の選手をはじめとする多くの方々が来日されます。その際、選手村で提供される食材は一定の基準をクリアしたもののみが許可を受けます。つまり、生産から出荷まで安心安全が客観的根拠に基づいて立証されること、その基準はGAPと呼ばれるものなのですが、農作物にはそのGAP認証が必須とされます。また、GAP認証取得の動きが急な背景には、人口減少が見込まれる日本においては、

市場規模も縮小するため海外への輸出の道を拓くことで、日本農業の活路を見出そうとする狙いもあります。そのため、農林水産省をはじめとして、このGAP取得を強力に推進しており、農業高校でも取得を目指すところが増えています。GAPの中でも最もハードルが高いのが、グローバルGAPです。検査項目の多さや煩雑さ、施設設備の充実、また取得に係る費用の高さが障壁となり、法人においてすらなかなか進捗を見せないのがこのグローバルGAPであり、現在、石川県では大手企業のイオンが取得しているのみでした。このグローバルGAPに本校が今年挑戦し、北陸の農業高校としては初となる認証取得に見事成功しました。認証取得に当たりましては、同窓会からもご援助をいただいておりますので、ご恩返し

できたことを、生徒職員一同、大きな喜びに浸っております。この快挙は、新聞やラジオなどの報道でも大きく取り扱われ、改めて意義の大きさを再認識しているところです。GAPは、農作物の安心安全のみならず、農業という産業の安全性をより強固にするためのものでもあります。昨年のこの紙面で、私の父が本校の同窓生であったことを記しましたが、その父は、私が大学三年生の時に農作業中に右腕を失い、それ以降は身体障害者として後半生を送りました。片腕になりながらも果樹園を続け、父祖伝来の土地を守り続けました。食や環境の根幹を支える農業が、GAP推進によって事故のない安全な産業になる。今回のグローバルGAP認証取得を、天国の父も喜んでくれていると思



# 「退職を迎えて」

昭和五十二年卒 農業科

長瀬 賢



私は、昭和49年4月に石川県立松任農業高等学校の農業科に入学しました。1

年生は大蔵先生、2年生は東先生、3年生は

大蔵先生が担任でした。入学当初私は、あまり学校へ行くことに気持ちが進みませんでした。農業が好きでなく、土の臭いも嫌いでした。でも1年の6月頃、担任の一言で気持ちが変わり、吹っ切れたことを覚えています。それからは少しずつ勉強に力が入ったように思います。2年生の時、野菜の授業は担任の先生でした。先生の授業には絶対に7割ぐらいの点を取ろう、と気持ちが入ったことを思い出します。だんだんと農業が好きになってきました。3年生の時は進路を決めることでいろいろとわがままを言ったように思います。進学もできず就職も決まらず、宙に浮いたような気持ちでした。

大蔵先生から実習助手の試験を受けてみないか、と言われ受験しました。先生から話がなければ今の仕事にはついていないと思います。大蔵先生には感謝しています。また、高校3年間は東先生、西先生、宮田先生などいろいろな先生方にお世話になり今の自分があると思っています。

就職が決まって最初の赴任は、石川県立小松瀬頌養護学校でした。(現石川県立小松瀬頌特別支援学校)昭和52年5月に勤務を始めました。その年に高等部が開設され、最初の仕事は、生徒会の規約を鉄筆とロウ原紙に書き込む仕事でした。職員会議や分掌、研究会に出ても教育の専門用語が飛び交い何を話しているのかさっぱり分かりませんでした。そこで通信大学(初等教育学部)に入学し、勉強したことで少しずつ分かるようになってきました。

私は19歳で、生徒と年齢が変わらず、年上の生徒もいたので、生徒への関わり方が分からず大変でした。先輩の先生に生徒との関わり方を教えてもらい少しずつ生徒と話すことができていきました。技術家庭の授業では、畑でひょうたんやアネモネ、鉢物の花などを栽培し、冬は古木とひょうたんの加工をし、作品を作っていました。

上司の先生はあまり仕事のことを話さなかったのですが、先生が鎌を持てば自分も鎌を持ち、鋏を持てば鋏を持ち、鉢物の土替えをすればそれを手伝い仕事を覚えました。

ある時その先生は、「早く松任農業高校に戻り、そこで仕事をした方が君の将来のためになるよ」と言ってくれたいました。とても嬉しく思いました。私は頌養護学校の生徒達と当時の先生方に仕事の基礎を教えていただきとても感謝しています。そこでは7年間勤務し、昭和59年4月に石川県立松任農業高等学校に異動してきました。

最初の頃は恩師の先生方がたくさんおられ、とても緊張していたことを覚えています。配属は畜産科で乳牛を担当しました。私の家は酪農をしていたので牛や豚の飼育には抵抗がなかったのですが、鶏が大の苦手でなかなか触ることができませんでした。また、初めての去勢実習では、生徒から「先生できるん？」と言われながらも、どうにかして見せることができました。その後ピュアマートを3年間、果樹を1年間、草花を4年間、野菜を5年間担当し、栽培技術を学びました。

松任農業高等学校と翠星高等学校に23年間と長く勤務しているうちに、仕事に慣れと甘えが出てきたと感じ、気持ちを切り替えたいと思い、異動希望を出し石川県立錦城特別支援学校にかわりました。翠星高等学校で学んだ栽培技術を生かしそこでは、野菜や花などを栽培し、木工では椅子やカスターネットを製作、販売を行いました。生徒達と授業や部活動を通じて充実した5年間でした。

家庭の都合で平成24年4月、翠星高等学校に異動し、野菜を2年間と作物5年間を担当しました。実習費から支出して、収入を上げなければならなかったのですが、少し不安でしたが、充実した7年間でした。

松任農業高等学校の学生時代で学んだことは、「一生懸命に取り組む」、「借りたものは借りた時よりも綺麗にして返す」、「感謝の気持ちを忘れないように」の言葉が心に残っています。学生時代の先生方に感謝しています。



2018年7月4日(水)北國新聞朝刊29面

## 翠星高の コメ 国際規格挑む

白山市の翠星高等学校は、1日、農産物生産者の国際規格「グローバルGAP」の認証取得に向けた講習会を開催した。同校は、この講習会を通じて、農産物の生産から出荷までの過程を厳格に管理し、国際規格に適合させることを目指している。同校の校長は、この講習会を通じて、農産物の生産から出荷までの過程を厳格に管理し、国際規格に適合させることを目指している。同校の校長は、この講習会を通じて、農産物の生産から出荷までの過程を厳格に管理し、国際規格に適合させることを目指している。

2018年9月11日(火)北陸中日新聞朝刊20面



### 農林水産大臣賞受賞の 喜びと責任

平成二年卒 農業畜産科 安井 善成



全国規模の表彰の場において名譽な賞をいただき、大変光栄に思います。父より世代交代を経て有限会社安井ファームの代表取締役に就任し、それまでは純粋なコメ農家だった会社の中でノウハウの無い野菜作りと向き合い、暗中模索の日々が続いておりましたが、おかげさまでこのように第三者評価機関より表彰され、自信を持つて野菜農家を名乗れるまでになりました。まずは会社創設から現在に至るまでの全ての関係者の皆様に御礼申し上げます。

過去に法人としてグローバルGAPの取得経験があることから2017年には北陸の高校としては初となるその認証取得に向け、指導者として母校である翠星高校を訪ねる機会がありました。かつての学び舎で教える側の立場にいるというのは少し奇妙な感覚でしたが、それでも1年以上にわたる指導を経て、担当教諭やGAP隊のメンバーが一丸となつてその対策に取り組み、昨年、見事に認証取得を果たされた際は我がごとのように感動いたしました。

今回の安井ファームの受賞は経営改善部門における最高賞ということでしたが、これに甘んじることなく今後もいち法人として経営規模拡大に向けて邁進していくとともに、自分たちだけではなく地域社会への貢献をも念頭に、これまでお世話になった方々に対して「恩返し」の精神で臨んでいければと考えます。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



### 高校を卒業して

平成十七年卒 総合グリーン科学科 鈴置 善太



六星同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと拝察申し上げます。石川県立翠星高等学校総合グリーン科学科を2008年に卒業させていただきました鈴置 善太と申します。

現在は、両親の店を継ぎ、日本料理店の二代目として料理の腕を磨いております。地元の新鮮かつ豊かな食材と、沢山のお客様に楽しんでいただきながら、店を営んでおります。2016年には、「ミシュランガイド金沢」にて、星も頂戴いたしました。

学校を卒業してからも、そのご縁を大切にさせて頂き、翠星高校特産の味噌を使って地元の唐辛子「剣崎なんば」と合わせたなんば味噌や、大根ずし、また、毎年年末には同じく翠星高校特産の黒豆、大納言小豆などを仕入れて当店で使わせていただき、お客様にも大変ご好評を頂いております。

その傍、日本の大切な文化でもある茶道を在学中から嗜み、今では遠州流茶道の上席師範として、御家元の直門「金沢真甫会」の筆頭教授者と、自身の社中「白麗会」を主宰し、合わせて30名ほどに茶の湯の稽古をつけさせて頂いております。

また、毎年お茶会の掛け金もさせて頂いたとき、地域の文化貢献に少しでも協力出来るよう精進しております。

これからも、料理に茶道に、研鑽を重ねて精進して参ります。

最後になりますが、六星同窓会の御多幸と発展を心よりご祈念申し上げます。



### 私「GLOBAL GAP」

3年 川上 大河

GLOBAL GAPを認証するにあたり、最初は「GLOBAL GAP」という言葉も聞いた事がなく、何も分からないまま活動が始まりました。正直最初はみんなあまり気が乗らなかつたのですが、GLOBAL GAPのことを調べ、様々な説明を受け、そして何より今後の農業のことを考えた時に自分たちも頑張ろうと本格的に活動が始まりました。

しかし、いざ活動を始めようとした時に、何から行けばよいか何も分かりませんでした。そこで本校の卒業生でもある有限会社安井ファーム代表の安井 善成さんに協



GLOBAL.G.A.P 認定書



GAP隊のメンバー

力を得て、一つ一つ丁寧に教えていただき、少しずつですが理解することが出来てきました。

そして安井さんのご協力のおかげで、何とか仲間たちも本格的に取り組みを開始することができましたが、新たな問題がありました。理解したものの今度はGLOBAL GAP認証への難しさに直面したのです。様々な難問の壁にぶち当たり、そして戸惑いながら仲間と相談し、先生方にも助けていただきながら、何とか一歩一歩少しずつ前進しました。認証を受けるための審査日が近づく頃には毎日必死でしたが、今思うととても良い経験でした。

そして審査当日、とても緊張しましたが、何とか今まで取り組んできた成果を発揮し、北陸の高校では初となる最難関の「GLOBAL GAP」認証を取得することが出来ました。認証の報告を受けた時はとても嬉しく、今まで取り組んできたことが報われて本当に良かったと思えました。

本当に大変な作業と時間を費やしましたが、今はこの経験ができたことは私にとつてとても大きな財産になりました。卒業後は就職先でこの経験を存分に発揮したいと思っています。

### 農産物安全 高校生に学ぶ



2018年12月18日(火)北陸中日新聞朝刊17面



# 支部だより

## 関東支部

昭和三十三年卒

小林 好晴

平成三十年支部総会を、十一月十日(土)に本校から稲葉校長先生と寺田先生及び白山市東京事務所の佐戸所長をお迎えして主婦会館プラザエフで開催しました。

この数年間、役員のご尽力により会員の増加が図られ、会友のご消息も把握出来るようになってきました。今後とも会員相互の親睦に努めてまいります。

平成三十一年二月二十三日に開催される「百万石の集い」では、午前中に県知事担当の県政報告会、午後には石川県人会担当(山田外彦氏)の交流会を企画しています。詳細な計画はこれからですが「ふるさと会」

や「同窓会」の情報交換もあり、加工食品などを通して翠星高校を紹介する良い機会と思っています。

## 関西支部

昭和二十九年卒

北本 幸雄

平成三十年度六星全支部総会を、十月二十日土曜日前回と同じ梅田ホテルグランヴィア大阪」な



にわ食彩しずく」に於いて、母校より稲葉校長先生と寺田事務局長さんをお迎えして開催しました。松永副部長の進行により本年度の事業、決算報告と次年度の事業計画等の議案について審議、そして質疑応答の上承認をいただき可決致しました。続いて山岸副部長の乾杯の音頭で、支部の発展と皆様の健康を祈念し懇親会に入り、先生方から母校の近報をいただき又、会員の方々の生まれ育った故郷の情報の交換等なつかしい昔話と飛び出し、会が盛り上がりました。

本年度は御身代わりです。平成から新しく年号が変わります。当支部も大きな変化はなくても嬉しい変化があればと考えております。

次の三十一年度の総会を目標として頑張るつもりです。

次年度の総会を目標として頑張るつもりです。



## 東海支部

昭和三十七年卒

猿渡 孝之

平成三十年度の六星同窓会東海支部総会が、五月二十六日(土)に、中部石川県人会川端俊朗副会長、石川県立翠星高等学校稲葉幹雄校長先生、同窓会事務局の長瀬賢先生

のご臨席を賜り、会員十二名の参加で、ホテルサンルートプラザ名古屋で開催されました。

開会にあたり、会長の江川久氏が

挨拶、その後、来賓の祝辞として、県人会より、七月二十二日に中日パレスで石川県人の集いを開催するので皆さんのご出席をいただきたい旨お誘いがありました。

母校の稲葉校長先生からは、二十九年度十月に行われた日本学校農業クラブ全国大会プロジェクト発表会において翠星高校が全国最優秀賞と文部科学大臣賞を獲得したことが報告されました。石川県勢としては四十三年ぶりの栄誉です。今後とも母校の飛躍をご支援いただきたいとのお願いがありました。

総会議事に入り、事務局の山本満男さんより前年度の事業・決算報告、三十年度の計画提案があり、承認を得て可決いたしました。また、三十年度の新役員体制として、新たに猿渡孝之さんが会長に選任されました。

乾杯の音頭とともに懇親会に入り、それぞれの方々からの近況報告やテーブルでの交流で盛り上がりました。最後は新副会長に選任された券田猛さんの閉会の辞で、来年も元気で会う約束をして散会いたしました。



## 金沢支部

昭和四十八年卒

松平 裕喜

金沢支部定期総会は例年七月

第一土曜日に開催されている平成三十年七月七日(土)に出席者二十九名と、母校より稲葉学校長、六星同窓会事務局をお世話されている寺田教諭、安川教諭、高田講師、高木助手のご臨席を賜り、三十四名にて金沢駅東口にある「ANAホリデイ・イン金沢スカイ」に於いて開催されました。開会にあたり大藏捷直六星同窓会会長兼金沢支部長のご挨拶と稲葉学校長より祝辞を賜り、その他にも母校の現状を報告いただきました。

次の事務局より昨年度の事業・決算報告と監査報告が行われ、満場一致で承認可決されました。

総会後の講演会では昭和四十一年定時制農学科卒の松木会計事務所所長の松木浩二氏を講師に迎え「私の人生のターニングポイント」と題しまして講演を賜りました。

松木氏は幼いころから大変ご苦労されましたが、実業の農業と勉学を両立しながら国立の一橋大学に合格、さらに会計士としてステップアップを考え米国経営大学院(MBA)への留学も果たされました。金沢へ戻り公認会計士、税理士事務所の開業をきっかけに、日々ご自身と葛藤しながら、満足することなく様々な業務や事業を展開しながら今日に至っているお話を教示いただきました。会員一同感銘を受けました。さらにその後、昨年度「日本学校農業クラブ全国大会」にて全国最優秀賞を獲得した我ら後輩達である食品科学研究会のレベルの高い素晴らしい発表を視聴す

## 事務局だより

### 〔本部〕

〔会計監査〕 六月二日(土)翠星高校

〔理事会・総会〕 六月九日(土)グランドホテル白山

### 〔支部総会〕

〔金沢支部総会〕 七月七日(土)

ANAホリデイ・イン金沢スカイ

稲葉校長 寺田教諭 安川教諭 出席

### 〔関西支部総会〕

十月二十日(土)ホテルグランヴィア

稲葉校長 寺田教諭 出席

### 〔東海支部〕

五月二十六日(土)

ホテルサンルートプラザ名古屋

稲葉校長 長瀬実習教諭出席

### 〔関東支部総会〕

十一月十日(土)

稲葉校長 寺田教諭出席

